

大阪府 食品ロス削減の取組状況等に関するアンケート調査

ご協力 の お 願 い

大阪府では、食品ロスの削減に向けた食品関連事業者の方々の取組を後押ししていきたいと考えています。回答いただいた内容につきましては、今後、大阪府で具体的な施策の検討を行う際に参考とさせていただきますので、ご協力をお願いします。

平成 30 年 8 月 20 日 (月曜日) までにご回答をお願いします。

< 調査票への記入にあたってのお願い >

- 回答は責任者の方が記入してください。
- 回答は貴事業所の実態についてのみ記入してください。(他の支所や支店の分は除いてください。)
- 設問で「1つ選択」と指定されているものは、選択した番号を右の回答欄に記入してください。
- 設問で「すべて選択」と指定されているものは、回答欄の該当するものに全て○を付けてください。
- 「その他」を選択した場合は()内に具体的な内容を記入してください。
- 記入内容について照会させていただく場合がありますので、担当部署名と記入者名の記入をお願いします。
- 本調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)にて、送付くださるようお願いいたします。

担当部署

記入者

I. 食品ロスの発生状況と削減に向けた取組状況について

問 1-1 1年間に製造している商品のうち、何%程度を在庫のまま廃棄していますか。

販売先への納品期限切れや見込生産による余剰分など、出荷・販売できずに廃棄しているおおよその割合を記入してください。製造個数に対する廃棄個数の割合を想定していますが、不明な場合は、重量や金額の比でも結構です。

回答欄
%程度

問 1-2 在庫のままの廃棄を減らすため、どのような取組を行っていますか。
また、今後どのような取組を行いたいと考えていますか。(すべて選択)

削減に向けた取組	回答欄		
	現在取り組んでいる	今後取り組みたい	
<発生抑制の取組>			
1 生産計画・需要予測の改善	⇒問 2 - 1 へ	⇒問 2 - 1 へ	未選択の場合 ⇒問 2 - 2 へ
2 消費・賞味期限の延長 (食品のロングライフ化)	⇒問 3 - 1 へ	⇒問 3 - 2 へ	未選択の場合 ⇒問 3 - 3 へ
3 納品条件の緩和に関して卸・小売店等と交渉を実施			
4 その他 ()			
<有効活用の取組>			
5 子ども食堂等への無償提供			
6 その他 ()			
<その他の取組>			
7 廃棄する商品を飼料等の原料として活用 (リサイクル)			

⇒ 問 4 へ

Ⅱ. 生産計画・需要予測の改善の取組について

問 2 - 1 ※問 1 - 2 で「生産計画・需要予測の改善」を選択した場合に回答してください

生産計画・需要予測の改善に向けて、「現在取り組んでいる」ものを選んでください。(すべて選択)
また、今後、特に取り組みたいと考えているものを一つ選んで○を付けてください。

実施内容	回答欄	
	現在取り組んでいる	今後、特に取り組みたい
1 生産管理や需要予測に関する情報収集		
2 設備更新や製造工程の改善による生産時間の短縮や在庫の削減等		
3 需要予測の精度向上（販売実績のデータ化、ビッグデータの活用等）		
4 取引先との連携（需要予測情報の共有、発注早期化等）		
5 その他 ()		

問 2 - 2 ※問 1 - 2 で「生産計画・需要予測の改善」を選択していない場合に回答してください

生産計画や需要予測の改善に取り組めない主な理由は何ですか。(1つ選択)

	回答欄
1 人材や体制が不足	
2 欠品防止ために現在の余剰生産量は必要	
3 どのように取り組めば良いか分からない	
4 その他	
()	

Ⅲ. 消費・賞味期限の延長（食品のロングライフ化）の取組について

問 3 - 1 ※問 1 - 2 で「消費・賞味期限の延長」に「現在取り組んでいる」を選択した場合に回答してください

具体的な取組内容や、取組による効果を記入してください。

- 【例】**・ 製造方法を改善し日配品の賞味期限を延長。取引先の納品期限が緩和され見込製造による廃棄量が削減された。
・ 包装フィルムの違いによる食品の劣化状況の違いを検証中。

問 3 - 2 ※問 1 - 2 で「消費・賞味期限の延長」の「今後取り組みたい」に○を付けた場合に回答してください

現在取り組めていない理由は何ですか。(すべて選択)

状 況	回答欄
1 製造技術や食品包装に関する情報が不足している	
2 専門家を知らない (アドバイザー、包装資材メーカー 等)	
3 新たな設備の導入・更新が必要	
4 どのように取り組めば良いか分からない	
5 その他 ()	

問 3 - 3 ※問 1 - 2 で「消費・賞味期限の延長」を選択していない場合に回答してください

消費・賞味期限の延長に取り組まない主な理由は何ですか。(1つ選択)

1 消費・賞味期限を延長しても売上に影響がない	回答欄
2 設備投資や包装資材の変更に伴うコスト増	
3 日常業務が忙しく検討を行う余裕がない	
4 どのように取り組めば良いか分からない	
5 その他 ()	

IV.その他

問 4 生産管理や需要予測の改善や、食品のロングライフ化等の取組を検討するにあたって、商工会議所等が実施している経営相談窓口等を利用したことはありますか。(1つ選択)

1 利用したことがある	回答欄
2 相談窓口が設置されていることは知っているが、利用したことはない	
3 相談窓口が設置されていることを知らなかった	

問 5 食品ロス削減に関して考えておられることなど、ご自由にお書きください。

以上で調査は終了です。お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒(切手不要)により、平成 30 年 8 月 20 日(月曜日)までにポストにご投函ください。

ファクシミリを用いて回答される場合は、**FAX 番号 06-6210-9604**(大阪府環境農林水産部流通対策室)に送信をお願いします。(番号のお掛け間違いにご注意ください。)